映画『典座』上映終了

カンヌ国際映画祭で上映された全国曹洞宗青年会の映画『典座（てんぞ）』の永祥寺上映会は昨年夏に全五回開催し、ご好評のうちに終了いたしました。おたより配布の時期と日程が合わず永祥寺ホームページ・永祥寺フェイスブック・住職ツイッターでの告知となりました。

檀家代表者の変更は連絡を

年会費振り込み用紙の送り先である檀家の代表者は特に指定がない限りは、直近の葬儀で喪主を務められた方のお名前で登録しております。

入院、施設入所などの事情があり書類郵送先の変更をされる際は寺務所に

・現在の代表者の名前と振り込み用紙に記載の檀家ID番号（重要）

・新しい代表者の名前・住所・電話番号

をお知らせください。

納骨堂の名義が古いままと思った時は

お檀家の代表者が亡くなられても納骨堂の名義は無断では変更しないようにしております。

変更をご希望の方は寺務所に

・現在の名義

・新しい名義、住所、電話番号

をお知らせください。

よくあるご相談について

◆法事や祥月命日のご依頼について

お申し込みはお電話で結構です。土日祝日の予約はすぐに埋まりますので早めにお申し込みください。

寺務所を不在にしており電話に出られなかった時は、着信の電話番号で折り返します。番号通知でおかけください。

◆遠いご先祖様の遺骨について

先祖代々の遺骨がたくさんあり納骨堂におさまりきらない場合は、

1、小さな骨箱を買って納めなおす「分骨」

2、自宅の過去帳に名前を記した上で、永祥寺の合葬（がっそう）墓へ納める

3、新しい納骨壇の利用を申し込む

などの方法があります。お寺にご相談ください。

◆永代供養について

ホームページの中に「永代供養への見解」というメニューがあります。そちらの文章をお読みいただいた上でご相談をお願いします。自分ではホームページを見ることができない方も、家族友人に調べてもらうなどして一度ご覧ください。

永祥寺だより

帯広市西2条南2丁目
TEL: 24-3250
製作：織田秀道

祥雲閣がきれいになりました

コロナ禍で経済が冷え込む今、永祥寺ができることを考え祥雲閣の内装工事を大々的に行いました。

・一階と二階の絨毯の入れ替え
・壁紙の総張り替え
・一階と二階の和式トイレを洋式トイレに変更
・一階トイレ横にオストメイト対応の多機能トイレを設置

昭和五十五年の建設以来、初めて絨毯を入れ替えました。以前の赤い絨毯は硬く、冬場は冷たくて歩くのが大変でした。新しい緑色の絨毯は柔らかくて歩きやすくなっております。また壁紙も初めて張り替えましたのできれいで明るい雰囲気になりました。

トイレは使いにくい和式トイレを廃止して洋式トイレに変更しました。また、設置場所を決められずにいた多機能トイレも設置することができました。

コロナ禍であらゆる活動が制限された反面、お寺のあり方をあらためて考え設備投資を行うことができました。「誰もが安心してお参りできるお寺作り」が前進した一年になりました。

おてらおやつクラブ活動継続中！
あなたの気持ちを永祥寺が代わってお届けします

令和三年の予定

春の中日法要　僧侶のみで
花まつり大般若　僧侶のみで
子ども禅の集い　未定
万灯供養　未定
秋の中日法要　未定
戒名授与式　十月七日開催
両祖報恩法要　未定

戒名授与式は参加者が名簿で把握できており、かつ少人数なので開催が可能と考えております

2020 年秋彼岸は
120kg でした

お盆明けに捨てられたお供え物

2017 年お盆 1,345kg
2018 年お盆 1,197kg
2019 年お盆 960kg
2020 年お盆 350kg

年々減っています！
皆様のご協力に感謝申し上げます。

お供え物はお持ち帰りください

今年の春彼岸もお供え物の廃棄作業を委託できませんでした。永祥寺では年二回、回収作業を外部に委託しておりましたが、コロナ以降は作業を断られております。

そのこともありますがそれ以上に、まだ食べられるお供え物を廃棄する習慣を見直し廃棄ゼロの実現に取り組んでおります。回収作業の中止は二〇二八年です。何度もうるさく書いてしまい心苦しいのですがよろしくお願いいたします。

ほとんどの方から当寺の廃棄問題にご理解をいただき急速に改善しておりますことに御礼申し上げます。

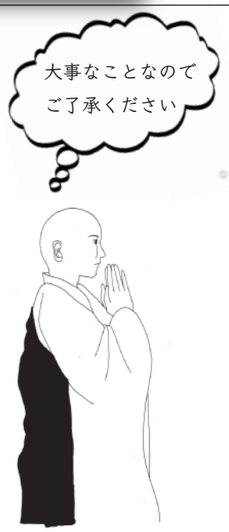
年会費は振り込み用紙で

これまで、振り込み用紙を持たずにお寺までお支払いに来て下さった場合も入金をお受けしていました。

しかし、入金したことを忘れて手元に残った振り込み用紙を使って再度入金をしてしまう方がいらっしゃいます。

また、別居の親族が振り込み用紙でお支払い下さっているのに、知らずに二重入金をしそうになる方も大勢いらっしゃり、その度寺務所で入金記録の確認作業が発生しています。

お寺に納めに来てくださる際はかならず、振り込み用紙をお持ちの上でご入金をいただきますようお願いいたします。



振り込み用紙を紛失した場合は

用紙をなくされた場合は再発行して郵送します。寺務所にご連絡ください。

年回法要のご案内を始めました

家の法事の時期や年数の数え方がわからなくなってくるのは七回忌以降という方が多いのではないでしょうか。

「先祖供養の勤め忘れは家長の恥」という意識は失われつつありそうですが、七回忌・十三回忌・十七回忌の法要にあたるご家庭に向けて少しずつお知らせの送付を始めました。

令和三年のご法事

ご逝去年	
一周忌	令和二年
三回忌	平成三十一年　令和元年
七回忌	平成二十七年
十三回忌	平成二十一年
十七回忌	平成十七年
二十三回忌	平成十一年
二十七回忌	平成七年
三十三回忌	平成元年　昭和六十四年
五十回忌	昭和四十七年

【檀家の権利】について

ある研修でお寺のコンサルタントの方が「この業界には檀家の義務ばかり強調して檀家の権利を教えてくれない傾向がある」と話されていたのが心に残りました。ここで当寺のお檀家様の権利について紹介いたします。

一、仏事について

葬儀、法事、月参りなど一切の仏事を依頼できるのは永祥寺のお檀家様のみです。

二、納骨堂の利用について

納骨堂は永祥寺のお檀家様だけがご利用いただけます。

三、祥雲閣の利用について

祥雲閣を通夜葬儀で利用される際は檀家向けの使用料の設定があります。

祥雲閣の通夜葬儀での利用料は檀家外との差が小さいので検討していきたいところです。

市の中心部でバスも近くを走っている永祥寺の納骨堂を利用できることは檀家である大きな意義と感じます。

仏事についても皆様のご支持をいただけるよう努力して参ります！

法事の三つの心がけ

法事は故人の冥福を祈る営みですが、久しぶりに親戚同士が顔を合わせて近況を話し合い絆を深める役割もあります。

そんな法事をお勤めする時の「三つの心がけ」というものを教えていただいたことがあります。

一、追憶（ついおく。故人のことを思い出す時間にする）

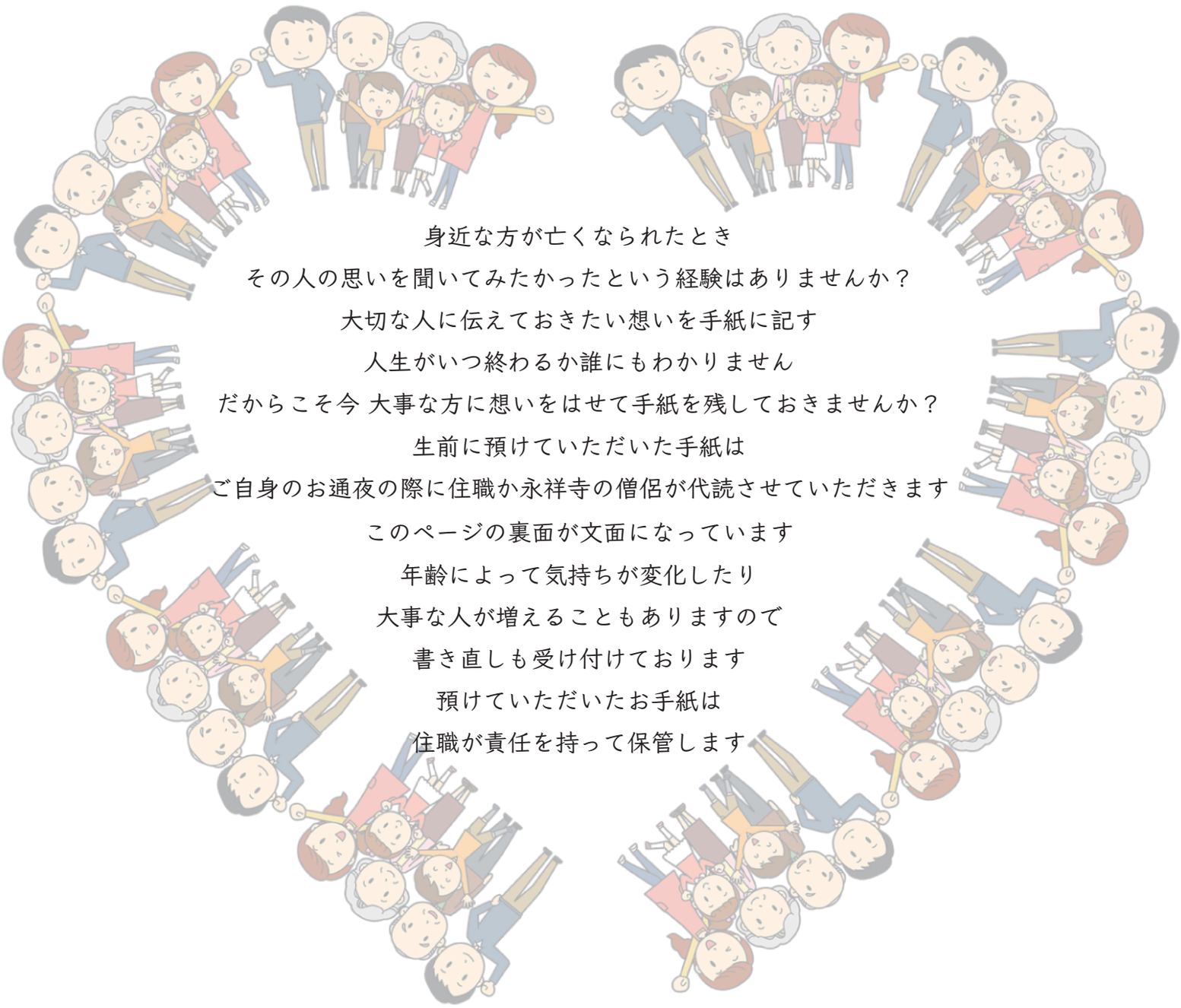
二、自覚（じかく。この人がいてくれたから今の私があるという事実を自覚する時間にする）

三、和合（わごう。親族同士が仲良く過ごしている姿を故人に見せる。そうして故人に喜んでもらう時間にする）

いつも私が法事で話しているので耳にされたことがおありの方も多いことと思います。今はコロナ禍で叶いませんが、この状況が明けたら法事は楽しくお勤めしたいものですね。

いのちの手紙を書いてみませんか？

いのちの手紙とは



身近な方が亡くなられたとき
その人の思いを聞いてみたかったという経験はありませんか？
大切な人に伝えておきたい想いを手紙に記す
人生がいつ終わるか誰にもわかりません
だからこそ今 大事な方に想いをはせて手紙を残しておきませんか？
生前に預けていただいた手紙は
ご自身のお通夜の際に住職か永祥寺の僧侶が代読させていただきます
このページの裏面が文面になっています
年齢によって気持ちが変化したり
大事な人が増えることもありますので
書き直しも受け付けております
預けていただいたお手紙は
住職が責任を持って保管します

お問い合わせは　永祥寺寺務所 0155-24-3250
織田秀道 hidemichi.zen@gmail.com

いのちの手紙

大切な方たちに伝えておきたい感謝の言葉

書き手のお名前と檀家代表者のお名前（寺務所での名簿検索に必要です）

書き手の電話番号（字の読み方をお聞きする場合があります）

書き終えたら封筒に入れて
〒080-0012 帯広市西 2 条南 2 丁目 11 番地
織田 秀道　個人宛てお送りください